
「住民との対話の場」の デザイン

軽井沢町庁舎改築周辺整備事業推進委員会
住民との対話の場ワーキンググループ

ワーキンググループの位置付け

- 参加者: 委員(島崎、福原、堀池、山崎)、山下三浦JV、新庁舎周辺整備課、吉田(アドバイザー)
- 住民との対話の場をデザインし、意思決定の為に委員会に上申する役割
- 住民との対話の場の具体的運営を計画し、主体的に実行していく役割
- 対話の場の結果を、委員会に報告する役割

プロジェクト名：軽井沢町庁舎改築周辺整備事業住民のワークショップ（仮称）

Copyright ©2024 株式会社 Dialogic Consulting

実施時期：2024年度

場所：未定

対象：未定

現在の状況

町政の現在の状況

- 庁舎や公民館などの公共建築の計画には住民等参画の手続きを行う必要があると定められている
- 庁舎の見直し方針で複数のワークショップ（WS）を開催する計画が建てられている
- 4月移行のWS開催に向け、WSの設計を行うことが急務である

委員会の現在の状況

- 一部委員：前回WSの満足度が低い
- 2/14の委員会終了時の池田委員長のご発言を受け、一部の委員や関係者が残りWSの設計に関しての会話を行った
- 3/19開催の委員会でワーキンググループの推進を承認頂く。

WSワーキンググループ（WG）の現在の状況

- 仮WGは週1回のペースでオンラインミーティングを継続中。
- WGは意思決定機関ではなく、WSをデザインし、委員会に上申する会議体。
- WS実務経験のある委員に声がかかけられ、設計JVメンバーも加えたWGを組成。（大久保、島崎、福原、山崎）
- 外部アドバイザーを吉田氏に依頼、WS設計へのアドバイスを受ける予定

町民の現在の状況

- 前回ワークショップ（WS）満足度が低い
- 事業・WSの認知度が低い

WGを進めるうえでのお約束

- 定例ミーティングは毎週月曜日
- このWGが住民参加のWSの縮図として考える
- 十分に自分の意見を言えた、と思えるように関わる

ワークショップ・プログラムデザイン

■事前準備

1：WG会議で以下のプログラムデザインを行う

- WSの目的と目標
- 目的と目標に即した対象者
- 実施時期・回数・時間、レベル、粒度
- 目的と目標に合わせた各レベルのWSのコンテンツ
- 名称：住民等にわかりやすく、受け入れてもらいやすい名称
- オペレーション：外部講師や住民等への公募も含め、WSのオペレーションを検討する
- 役割：

2：委員会で上記内容を決定

3：WSの開催を町民に広く伝え、参加を呼びかける

■WSの実施

■WS後

- WS結果の分析
- 委員会への上申
- WS結果の広報

目的（事業のゴール）

- 質実剛健ながらも品格があり、機能美も感じられる美しい建物が建設されている。
- 住民等が建築物に愛着と誇りを感じている。

目標（WSのゴール）

量的目標

- 基本方針・基本計画に反映させられるような住民等の意見が集まっている
- WSのアウトプットが、基本方針・基本計画に反映されている

質的目標

- 住民等が本事業に参画したという実感を持っている
- 町民の当事者性が上がっている（自分にとって大事なプロジェクトだと感じている）
- 町民が意味のある建物ができることにワクワクしている
- 本事業への賛同者・仲間を増えている

*町民以外の利害関係者（観光客、別荘所有、通勤者、通学者、職員）の意見を聞く場の設定を検討する必要がある。

懸念事項や乗り越えづらい課題・その対応

【軽井沢町】

- 事業全体への味方が少ない状況である。町民からの支持が得られていないことに加え、町役場職員からも未だ協力が得られていない。その原因は、事業に興味がない、一旦凍結するまでのプロセスに対するネガティブイメージを持つ方が多い印象を受けている。
- 前回の印象の払拭方法を考えなければならない。
- 多様な住民意見を受け入れることは必要だが、その取捨選択方法が悩ましい。行政としては住民の声を一旦聞くと反応しなければならない義務が発生する。（⇒WSは意思決定機関ではないことを明確化することが重要）

【設計JV】

- 様々な自治体で開かれた庁舎と言われるが、実際に職員の業務スペースをあまりに開くと動きづらい環境になる。重要なのは利用者との接点である窓口が心地よい環境になるかどうか。（⇒窓口の設計などは具体的に頻度高い利用者を交えたWSを行っても良い）
- 庁舎は実際に利用するのは職員。委員会の委員に職員から多数選出されているが、心理的安全性が整っておらず意見を言える環境ではない。職員が自由に発現できる環境を作っていく必要がある。（⇒以前に組織ごとNeedsの吸い上げは行ったが、WillやWantsを傾聴するWSの開催が必要）
- 前回WSにも良かった点はある。良かった点をしっかり振り返り、今後のプログラムデザインに反映した方が良い。

【福原委員】

- 今回WS実務経験のある委員が仮WGを形成しているが、他委員に対しての丁寧な説明を行い、他委員からご理解を頂くことが必要。また他の委員の意見もWSの運営に反映させるプロセスも必要。

**なぜ「住民との対話」が必要なの
か？**

対話の目標

- フェーズ: 軽井沢町庁舎改築周辺整備事業の「基本方針」を確定する段階
- 目標①: 「基本方針」に反映することが出来るタイミングで、住民の意見を十分に集める。
- 目標②: 推進委員会が有益と判断した住民等の意見を町長に進言し、「基本方針」に反映させる。

住民の意見を集める項目 (見直し方針参照)

- 庁舎の規模
- 公民館機能拡充施設の規模
- 役場機能の再配置(DX推進を踏まえ、今後どの場所にどんな機能・サービスが必要になるか。ネットワーク化)

(以下は専門技術的要件のため、委員会で検討を行う)

- 仮庁舎の設置・段階的整備から同時整備への変更
 - 民有地の取得と活用
 - 公用車駐車場の規模
 - 階数・まちづくりの規範となる建物へ
 - 工事スケジュール
-

対話の効果

- 効果①: より良い「基本方針」になる
- 効果②: 本事業への賛同者・協力者が増える
 - 住民が本事業に参画したという実感を持てる
 - 住民の当事者性が上がる(自分にとって大事なプロジェクトだと感じる)
 - 住民が本事業にワクワクできるようになる

対話のデザイン

住民の意見をよりよく集めるための2つのステップ

1. Step1: 住民の意見を傾聴する
 - 2023年2月の一旦凍結までのプロセスにモヤモヤを感じている住民、庁舎建替事業自体に疑念を持っている住民に対して、事業全体を理解してもらい、意見を聴くフェーズ
2. Step2: 住民の意見を募集する
 - 「基本方針」の、1)役場機能の再配置、2)庁舎の規模、3)公民館機能拡充施設の規模に対して、様々な角度からの多様な意見を募集するフェーズ

Step1 : 住民の意見を傾聴する

「庁舎建替全般に関して何でも意見を聞かせてください会」

1. 日程:5月7日(昼・夜)、11日(昼・夜)
2. 人数:各回最大15名程度(事前申し込み)
3. 構成
 - 本事業の現状説明(30分)
 - 質疑応答(30分)
 - 何でも意見を聞かせてください(60分、一人一回3分まで。議事録作成&公表)
4. ファシリテーター:委員・町職員

「何でも意見を聞かせてください会」の注意事項

- 各住民の意見が重要と考えていることを理解してもらう(録音・議事録作成・議事メモの画面表示)
- 設計者は住民がクライアントであると考えていることを理解してもらう(設計者からの説明)
- 各住民の意見が、必ず反映されるわけではないことを理解してもらう(委員会が意思決定機関と周知)
- 一回3分で話してもらう事をお願いする

Step2: 住民の意見を募集する

「庁舎建替の基本方針に関するおしゃべり会」

1. 日程:5月12日、18日、19日、25日、26日、6月8日、9日
2. 人数:各回最大50名程度
3. 構成:
 - 本事業の現状説明(10分)
 - テーマに沿ったインプット(30分)
 - チェックイン・グループ分け作業(10分)
 - おしゃべり会(60分・グループワーク)
 - グループ発表(30分)
 - チェックアウト(10分)
4. ファシリテーター:委員 & 民間募集(プロボノ)
5. グラフィックレコーダ:プロに依頼

「おしゃべり会」の注意事項

- 基本方針段階では、抽象度の高いディスカッションになるようにデザインする
 - 今後の「住民との対話」の大枠スケジュールを示し、具体的な意見は未来に募集することを理解してもらう
 - ディスカッションの問いかけを抽象的にする
 - グラフィックレコーダを入れて、議論の構造を常に可視化する
- テーマから逸脱しないように軌道修正する
- 住民のリテラシーを上げてからディスカッションに入れるようにインプットを重視する

テーマ：庁舎の規模・機能

- 目的：庁舎の規模に対する意見募集
- インput：庁舎機能の説明・機能ごとに必要な広さの説明など
- 問いかけ(案)
 - なぜ庁舎は必要なのか？
 - どんな庁舎だと住民としてワクワクするか？
 - どんな庁舎だと住民として誇りに思えるか？
 - 理想的な町役場と住民の関係は？

テーマ：公民館機能拡充施設の規模・機能

- 目的：公民館機能拡充施設の規模に対する意見募集
- インプット：公民館と交流センターの違いの説明
- 問いかけ(案)
 - なぜ施設は必要なのか？
 - どんな時に施設を使いたいのか？
 - どんな機能が欲しいのか？
 - 各地区分館で出来たら良いなと思うこと

テーマ: 役場機能の再配置

- 目的: 役場機能の再配置に関する意見募集(窓口サービスを1箇所に集約せず、分散配置によって利便性を高める)
- インプット: 役場機能・サービスの説明・DXの検討内容説明・インクルーシブデザインの説明
- 問いかけ(案)
 - どのような窓口の分散配置が良いか?
 - 役場にDXで実現して欲しい事は?
 - ユニバーサルデザインで重視すべき点は?

属性分け案

属性	属性に分ける理由
①一般	一般募集枠
②子ども・ユース	未来を担う世代からの意見を反映する、参加した子どもの家族を仲間にしていく、町が広く意見募集している事実を公表し印象を良くする、
③転勤で軽井沢町に住する住民	最もフラットな目線で意見をもらえる、軽井沢への愛着を増やし定住化を促進する
④別荘住民	税金の半分をもたらしている別荘の方々の意見を反映する、別荘住民も重要なステークホルダーである事を示す。
⑤区長・民生委員・消防団など	まちづくりや町の暮らしにコミットしている人の意見を反映する、意見が出てきにくい地元住民の意見を表出させる、本事業の仲間を増やす
⑥町役場職員	新庁舎の最大のユーザーになる職員の、業務上の Needsだけではなく、町役場の在り方の未来を見据えた WantsやWillを抽出する

日程案

日付	時間	場所	テーマ	属性	内容	ファシリ	記録
5/7(火)	13-15	講義室	1: 傾聴	なし	全て	町・吉田	速記議事録
5/7(水)	18-20	オンライン	1: 傾聴	なし	全て	町・吉田	速記議事録
5/11(土)	13-15	講義室	1: 傾聴	なし	全て	町・元	速記議事録
5/11(土)	18-20	講義室	1: 傾聴	なし	全て	町・吉田	速記議事録
5/18(土)			2: おしゃべり			委員・公募	グラレコ
5/19(日)			2: おしゃべり			委員・公募	グラレコ
5/25(土)			2: おしゃべり			委員・公募	グラレコ
5/26(日)			2: おしゃべり			委員・公募	グラレコ
6/8(土)			2: おしゃべり			委員・公募	グラレコ
6/9(日)			2: おしゃべり			委員・公募	グラレコ

本日ご意見
頂きたい箇所

属性 x テーマの18パターン

<属性>

- ①一般
- ②子ども・ユース
- ③転勤で軽井沢町に居住する住民
- ④別荘住民
- ⑤区長・民生委員・消防団など
- ⑥町役場職員

<テーマ>

- A:庁舎の規模
- B:公民館機能拡充施設の規模
- C:役場機能の再配置

案1: 属性別で募集して、テーマでグループ分けをする方法

1. 日程を、①一般(全ての属性の人)と②属性別(4つ程度に絞る)に分て募集を行う
2. 集まっていたいた住民を、関心のあるテーマでグループ分けする
3. グループディスカッションを行い、意見を抽出する

案2: テーマ別で募集して、属性でグループ分けをする方法

1. 日程を、テーマ(庁舎の規模、公民館機能拡充施設の規模、庁舎機能の再配置)に分ける
2. 当日、集まっていた住民を、属性でグループ分けする
3. グループディスカッションを行い、意見を抽出する

案3:案1と案2のハイブリッド

- 日程を案1:属性別に募集する日と、案2:テーマ別に募集する日に分ける。